

視察等報告（復命）書

三次市議会議長 様

報告者氏名 内、田 伸 次

下記のとおり、視察が終了したので報告します。

視 察 委 員 会	会派 三輝会
期 間	7年 7月 1日（火）～ 7年 7月 2日（水）
視 察 先	岡山県吉備中央市・高知県安芸市・高知県四万十町・高知県黒瀬町
視 察 用 務	廃校利用の保護猫施設・女子野球への取組・移住定住施策・AI オンデマンド交通サービスについて
概要及び所見	吉備中央市 廃校を利用して民間業者が管理運営を行っている保護猫の一時的預かり所で、譲渡会を定期的開催し里親との相性等々適正な方と判断されれば、この施設を卒業していく。2名のパート（猫好き）で日々管理されている。全てが卒業できるわけでもないし、病気・エサ代などの経費をねん出するためにCFやグッズ販売も頑張っている。本市の野良猫対策にも民間の力を利用した廃校利用もありかなと感じた。 安芸市 知る人ぞ知る阪神タイガースのキャンプ地である。それが影響しているのか、全日本大学女子野球大会が5日間にわたり開催されている。近年参加大学が増加中。しかし、宿泊施設が少ないので高知市に多くが宿泊している。それでも、相当の経済効果はある。市民の関心がまだまだ醸成出来ていない。人口減少・少子化が進んでいる現状では、今後も参加大学が増えてくると運営が出来なくなる危惧を感じているようだ。女子野球だけはスポーツ人口が年々増加し、野球通じて繋がりが広がっている事を感じているという事であった。今女子野球はこれからの発展していくスポーツととらえる。本市もこの取り組みをいかに地元経済の発展に繋げていくか、民間と戦略を練る必要がある。 四万十町 やはり、人口減少・高齢化が進んでいるなかで、近年増加中の空き家を調査し、町内不動産業者と連携してランキングを付けて物件情報を

研修報告(復命)書

三次市議会議員 様

三輝会

報告者氏名 横 光 春 市



会派代表者



会計責任者



下記のとおり、研修が終了したので報告します。

研 修 会 派	三輝会
期 間	令和7年7月1日(火)9時20分～10時20分
視 察 先	吉備中央市 ティアハイム小学校
視 察 用 務	廃校を利用した保護猫施設について
視 察 対 応 者	ティアハイム職員

【視 察 内 容】

保護した猫を飼育し、譲渡会を開催し、猫好きな人に譲渡している。その仕組みや猫の飼育はどのようにしているか等を視察

【質疑応答】

Q 保護した猫は何匹まで保護しているのか、定員はあるのか。

A 従業員(勤務者)1人につき、最大30匹までしか飼育できない。本施設は、正職員1人(週5日勤務)、パート1人(週3日勤務)であり、定員30匹飼育している。

Q 猫の受け取りと、譲渡についてはどのようにされているのか。

A 野良猫をつか捕らえて連れてくる人、生まれた猫を引き取って欲しいという人、色々である。定員30匹以上にならないように、お断りする場合もある。

施設に入るには、猫エイズ、白血病のワクチン接種や避妊手術、去勢手術を受ける必要がある。

譲渡会は、毎週日曜日に開催している。猫を買う人は、何回も通って猫をみて購入されている。

【施設概要】

・旧大和中学校2階教室2室を4室に分け1組から4組として、気の合猫を飼育

- ・ 1階は、事務室、医務室、倉庫、大広間は地域の人に貸し出している。地域の方はカラオケ等趣味の会で利用されている(利用料必要)

【所 見】

猫、動物の飼育であり清潔感を気にしていたが、猫好きの方が職員として管理されて、猫の保護施設として、清潔感のある施設であった。

毎週の猫譲渡会、6年で240～250匹を譲渡できていることは、施設に入所した猫は幸せである。

また、施設運営で、猫の保護施設として活用していない室を地元へ貸し出していることは、地域コミュニティと施設運営資金にしていることもうなずける。

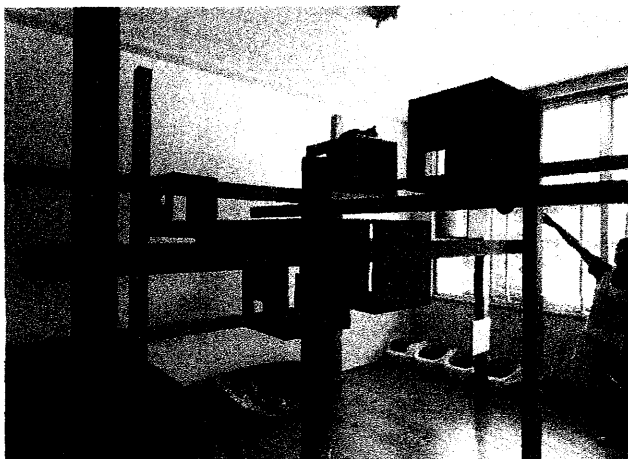
【研修中の写真】



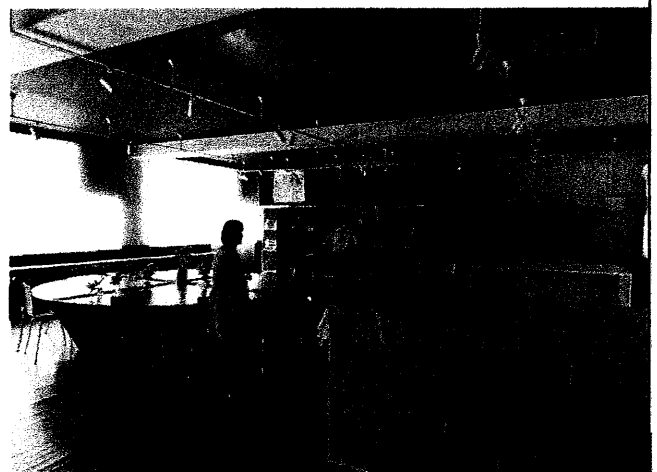
猫グッズを販売して資金に



猫の医務室



猫の保護室(4組あり) エアコン設置あり



地域に貸し出している1階の室

期 間	令和7年7月1日(火)13時～1時20分
視 察 先	高知県安芸市議会
視 察 用 務	女子野球の取り組みについて
視 察 対 応 者	安芸市議会事務局 [REDACTED] 局長 安芸市教育委員会 生涯学習課 [REDACTED] 課長 " スポーツ振興係 [REDACTED] 係長

【研修内容】

安芸市は「全日本大学女子硬式野球選手権」を開催されており、その取り組みについての研修を受ける。

参加チームが多くなり、各大学とはメールで連絡を行っている。監督会議はオンラインで一週間前に開催。

苦心している点は、①会場の割り振り、②弁当の手配では、負けたチームは帰途につくため、また、雨天延長やアレルギー対応も大変である。お茶は市で安価で購入し100円で販売している。

審判員は、高齢化が進み減少傾向であり、審判員捜しが大変である。スタッフは、高知市役所野球経験者、安芸中央高校にも応援をいただいているが、アナウンススタッフ探しも苦慮している。

大会経費は、令和7年度 安芸市1,479千円 高知市720千円 計 2,199千円

令和6年度 " 2,396千円 " 900千円 計 3,296千円であり、令和6年度の比べ令和7年度が安価についたのは、空港からのバス代を主催者側で負担していたが、令和7年度から、限度額20万円、半額助成にしたことにより、大学側も遠征方法を変更され、助成を受けた大学が5大学に減少したためである。

Q 大会中やその後の経済効果はどのように捉えているか

A 選手等は高知市に宿泊している大学が多い。家族等は宿泊施設は選手等大学側で埋まるため、駐車場で車中泊する人も見うけられる。市外の女子野球の大会が好きな観客は観戦されていると感じる。

選手の家族等の応援はあるが、余り多く見えていないと感じる。応援は選手が多い。飲食の効果はコンビニでよく見かける。

Q 小学校～高校への広がりはいかがか。

A 安芸市の出生数は年間50人程度であり、高校への入学は他市の生徒も多い。また、大会の始球式にはお願いしているが、大会参加チーム数も多くなっている状況であり、また、土曜日日曜日には中学校等の大会も開催され、広がりはない。

また、中学校も統合して1校になり、県立、市立、私立の高校進学である。

【所見】

安芸市は阪神タイガースのキャンプ地であり球場は芝生も内野グランドも管理は素晴らしく目を見張るようであった。

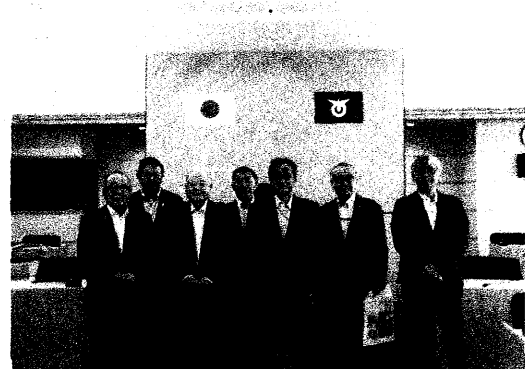
近年、野球等へ取り組む児童生徒が少ない中、女子野球の人気は高く、チーム数も多くなり、「全日本大学女子硬式野球選手権」参加の大学チーム数が多くなり、高知市も会場となっている。しかし、経済効果は宿泊者の多い高知市にあると思われる。

チーム数が多くなれば、大会運営は難しく、安芸市の御苦勞が伺える。しかし、その中に大会運営の達成感があるのではないかと感じられる。

【研修中の写真】



説明を受ける三輝会議員



安芸市議会議場で



安芸市営球場を視察する三輝会議員

期 間	令和7年7月2日(水)10時～11時30分
視 察 先	高知県 四万十町議会
視 察 用 務	移住・定住促進の取り組みについて
研 修 対 応 者	四万十町議会 [REDACTED] 議長 四万十町役場 にぎわい創出課 [REDACTED] 課長 〃 企画課 [REDACTED] 課長

【研修内容】

にぎわい創出課・移住庭樹係の業務は、①四万十町の魅力発信、②空き家の調査・空き家情報の発信、③お試し滞在施設の管理運営、④移住定住住宅の運営管理、⑤移住定住各種補助制度の整備、⑥四万十町東京オフィスの運営(H.30.6.1～R3.3.31)⑦地域おこし協力隊全般、⑧その他

空き家調査は、全戸数13,992棟、在宅戸数12,677棟、空き家戸数1,315棟で空き家の老朽度AランクからEランクの5段階と外観目視不可6棟と、空き家の実態調査を委託して実施している。

③の「お試し滞在施設の管理運営」

移住者にとって、新たな土地へ移り住むことは、期待と同時に大きな不安がある。本制度を使って、短中期的に四万十町を体験してもらうことで、町の魅力を直接感じてもらうとともに、不安を解消し、移住のきっかけへとつなげていく。(最長6カ月滞在) 滞在は区長に挨拶し、区長は回覧で発信する。

利用期間は1カ月から6カ月(1カ月単位で更新) 家賃は1万円～2万円

④移住定住住宅の管理運営

・移住支援住宅

入居対象者＝移住希望者限定、入居期間＝2年間

家賃集合住宅タイプ

2DK 月額 23,000円(3戸) 4LDK 月額 38,000円(2戸)

家賃戸建て住宅タイプ

2DK 月額 20,000円(1戸) 3LDK 月額 38,000円(1戸)

・中間管理住宅

空き家は12年間、家主から借り受け、改装して、移住定住住宅としている。家主には固定資産分を家賃として支払う。

入居対象者＝移住希望者限定、入居期間＝2年間(再契約可能)

家賃 月額 17,000円～44,000円 物件数＝52戸(内3戸は家主へ返還)

・中間管理住宅の改装費用

財源

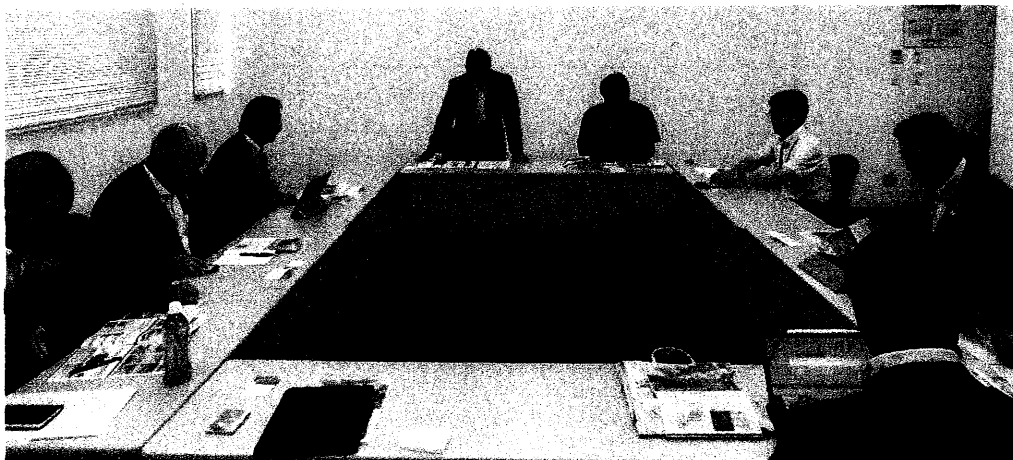
国 費	700万円……空き家対策総合支援事業補助金	
県 費	275万円……空き家活用促進事業補助金(高知県独自か?～	
過疎債	318万円……内70%は交付税措置(222.6万円)	
一般財源	107万円	など

【所見】

人口14,000人余りの四万十町が人口減少に歯止めを掛けようと奮闘している姿が見えてきた。政策として計画したことを中途半端では無く実行している。その一つは空き家調査である。海あり、山あり、四万十川ありで魅力のある町である。

私が惹かれた政策は移住定住住宅の管理運営であり、空き家の多い三次市でも移住希望者が安心して三次市へ移住するためにも、お試し受託は必要であると考えます。

【研修中の写真】



四万十町議会議長から歓迎の挨拶を受ける



四万十町議会 議場で

期 間	令和7年7月2日(水)10時～11時30分
視 察 先	高知県 黒潮町議会
視 察 用 務	AIデマンドバスサービス
研 修 対 応 者	黒潮町 [REDACTED] 町長 黒潮町議会 [REDACTED] 副議長 企画調整室 地域振興係 [REDACTED] 課長補佐兼係長 議会事務局 [REDACTED] 書記

【研修内容】

AIデマンドバスサービス

項 目	内 容
サービス名称	くじらん
運行開始日	令和7年2月3日
運行エリア	かせき、北郷、加持エリア
運航日・時刻	月・水・金(祝祭日は運休) 9:00～18:00
運賃	大人:100円 小児(小・中学生)障害者、介護者:50円 未就学児:無料 料金設定は、活性化協議会運賃分科会で設定 安価にしたのは、利用を促すための料金設定
支払い方法	現金、デスカ
予約方法	・電話(高知西南交通) ・スマートホンのアプリ(「のるーと」)
運行方式	定時定路線、デマンドのハイブリット(HB)
乗降方式	DtoD、Mtg-P方式のHB
導入費用	イニシャル:8,443千円 ランニング425千円(29カ月分)
その他	サービス名称は地元高校生のWSより候補考案し、住民アンケートで決定。 デジタル田園都市国家構想推進交付金 (デジタル実装Type1)活用
補助金	運行事業者への補助金 地域公共交通確保維持事業計画路線 超補助金 5,838千円 国庫補助金 2,158千円

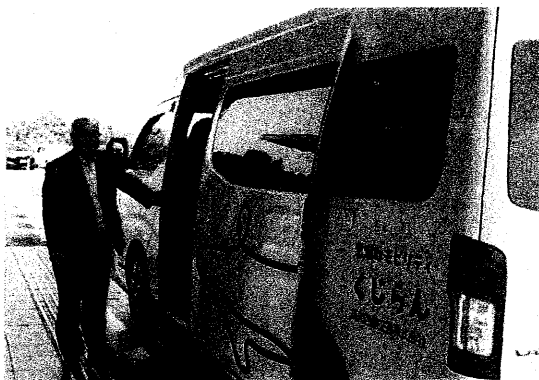
車両金額	日産キャラバン 2台 合計 8,490,952円
	県補助金 補助率 1/2 1台は福祉車両
利用状況	登録者数 234人 1日利用者 平均13人(目標値11人)
	アプリ予約 4割

【所見】

三次市内各地域に市民バスを運行しているが、特に本サービスは旧市内「くるるん」の運行についての運行・乗車方法に参考になった。いや、各地域でもサービス出来るかもと考えられる。

特に、定時バスとデマンド運行の時間わ配分して運行していることは魅力を感じる。ただ、スマーホンアプリの活用は高齢者にとって難しいかも知れない。

【研修中の写真】

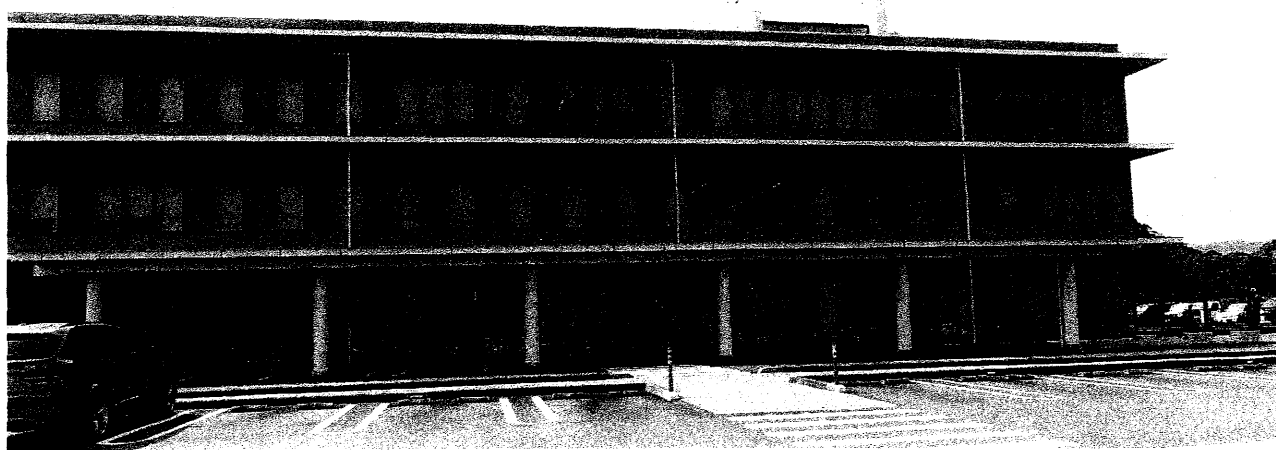


「くらじん」に乗車して市内を走行。



黒潮町議会議場で

一般車両は8人乗り、福祉車両は7人乗り



黒潮町 庁舎

※安芸市役所庁舎、四万十町庁舎、黒潮町庁舎共に3階建てで、津波災害を受けない地域に建築してあった。

陳情・研修等報告（復命）書

三次市議会議長 様

報告者氏名

弓 掛 元

下記のとおり、陳情・研修が終了したので報告します。

	会派代表者	小田伸次	経理責任者	藤井憲一郎
視 察 議 員	弓掛 元			
期 間	令和7年7月1日（火）～7月2日（水）			
陳情・研修先	吉備中央町、高知県安芸市、黒潮町、四万十町			
陳情・研修要務	廃校利用での動物愛護、女子野球、AI オンデマンドバス、移住・定住推進			
研修講師	安芸市清岡スポーツ振興係長、黒潮町秋田優子地域振興係長、四万十町小笹にぎわい創出課長ほか			
概要及び所見	吉備中央町のティアハイム小学校は猫を中心に動物保護活動を行なう組織であるが廃校利用して猫の譲渡会をされている。本市においても地域猫の問題もあり大変参考になりました。 高知県安芸市においては、プロ野球阪神のキャンプ地でもあり、又、女子野球の盛んなところで全日本大学女子野球選手権も開催されており本市においても女子野球を地域活性化の目玉にしていることもあり大変参考になった。 高知県黒潮町では、AI オンデマンド交通システム黒潮町モビリティくじらんについて勉強した。実際に乗車させていただき、ドライバーさんの生の声を聞かせて頂いた。タクシー会社は、ドライバー1名のみで導入にも支障をきたすことも無かったようだ。 高知県四万十町においては、移住推進について先進事例を学んだ。お試し滞在住宅、滞在型市民農園、移住定住住宅の管理運営など本市においても大変参考になる施策を学んだ。 それぞれ今後の施策提案に活かして行きたい。			

視察報告(復命)書

三次市議会議長 様

報告者指名 藤井憲一郎

下記の通り、視察研修が終了したので報告します。

記

視察議員 会派三輝会 7名(小田・横光・弓掛・月橋・國重・細美・藤井)

期間 令和7年7月1日(火)～7月2日(水)

視察先 ① 吉備中央町「ティアハイム小学校」
② 安芸市役所
③ 四万十町役場
④ 黒潮町役場

視察用務 ① 保護猫活動 廃校利用
② 女子硬式野球への取組
③ 移住定住先進地のその後
④ AIオンデマンドバス事業

視察先対応者 ① 施設担当正森様
② 〇〇議会事務局長 〇〇教育委員会生涯学習課課長
〇〇生涯学習課スポーツ振興係長
③ 〇〇四万十町議会議長 〇〇にぎわい創出課課長
〇〇富田企画課課長
④ 〇〇黒潮町議会副議長 〇〇企画調整室地域振興係係長
〇〇議会事務局書記

概要及び所見 ① 廃校となった旧大和中学校を活用し、捨て猫や飼育不能となった猫を引き取り、飼育しながら毎週譲渡会を開催している。以前は不妊手術も行っていたが、現在は獣医不在で行われていない。餌などは寄付で賄っているとの事。清潔な環境で飼育されており、猫を引き事を「入学」譲渡が「卒業」と元学校ならではの事である。

人員配置については、正職1名とパート1名の計2名で運営されているとの事であった。玄関にはオリジナルの猫グッズの販売もされており、企業努力も感じられた。

愛猫家も様々で、野良猫に対していたずらに餌をあげるのは間違っていると考える。この施設のようにしっかりとした理念をもった愛猫家が増える事を願うと共に、本市の廃校利用のヒントになればと感じた。

- ②三次市では女子硬式野球チーム「ブラックパールズ」が設立され、スポーツの観点だけではなく、女性活躍や地域振興に対する推進を見込んでいる。

視察先に選んだ安芸市に於いては「全日本大学女子硬式野球選手権」が開催されており、市としての関わりについて享受願った。高知県は野球が盛んで、高校の強豪女子硬式野球チームも多々あり、運営の手伝いも行っている。

本大会は高知市と共同開催とし、安芸市が約150万、高知市が約70万を負担。経済効果としては宿泊や飲食。運営上での困り事としては雨天時の対応(弁当手配など)や審判団の手配との事。

移動して「安芸市営球場」を見学させて頂いた。阪神タイガースのキャンプ地だけあって、素晴らしいコンディションの球場であった。

三次市においても、女子硬式野球ナショナルチームの合宿や各種大会が行われる。今後の展開にも注視したい。

- ③十数年前、四万十町といえば地域おこし協力隊を積極的に登用し、若い世代の移住者が突出していたいわば「先進地」であった。この度は「先進地のその後」を知りたく思い、直接話を伺う事とした。移住者に配慮したよりきめの細かい施策がなされていると感じた。特に「お試し滞在施設(最長6ヶ月)」「中間管理住宅(12年間)」と希望者のニーズに合わせている。

「中間管理住宅」については、空き家を国や県の補助金を利用するなどして町が整備している。

気になるのが移住者の生業である。主に農業に従事されているようであるが、移動動物園を営むなど面白い事例も伺った。

- ④黒潮町役場においてはAIオンデマンドバス「くじらん」を運行されている。三次市においては市内循環バス「くるるん」があるが、利用者数や利便性などに課題がある。小回りのきく小型バスであり、乗降ポイントを細かく設定出来る利点もある。

実際に乗車してみたが、登録から予約、配車、乗り心地ともに申し

分ありませんでした。

アプリ利用がまだ少ないようで高齢者への浸透が望まれるが、スマ教室などで周知に務めているとのことであった。

視察等報告（復命）書

三次市議会議員 様

報告者氏名

月橋寿文



下記のとおり、視察が終了したので報告します。

	会派代表者		経理責任者	
視 察 議 員	三輝会 7 名 小田・横光・弓掛・藤井・月橋・細美・國重			
期 間	令和 7 年 7 月 1 日（火）～ 令和 7 年 7 月 2 日（水）			
視 察 先	1 ティアハイム小学校 2 高知県安芸市役所 3 高知県四万十町役場 4 高知県幡多郡黒潮町役場			
視 察 用 務	他市や民間事業者の政策を研究研修し、三次市政に活かす			
視察先対応者	概要及び所見に記載			
概要及び所見	1 ティアハイム小学校 岡山県吉備中央町 廃校(旧大和小学校)を改装し、保護ねこシェルターを運営 毎週日曜日に定期譲渡会を開催しています(10 時～16 時 OPEN) ワンオペのため 30 頭まで(国の制度) 飼い主が亡くなる 野良猫 県外から持込 DC イノベーションが運営 1 名職員 1 名パート 2 安芸市役所 安芸市議会事務局 局長 安芸市教育委員会 生涯学習課 課長 スポーツ振興 係長 全日本大学女子硬式野球選手権 2025 第 11 回高知大会 18 チーム 来年は 21 チーム予定 安芸市営球場 東部総合運動場野球場 の 2 会場 市の予算 令和 6 年 2,396 千円(安芸市) 900 千円(高知市)			

	令和7年 1,479 千円(安芸市) 720 千円(高知市) バス代を 20 万円まで負担 宿泊は、高知市内が多い 令和7年総宿泊数 2,402 泊 うち市内宿泊施設 790 泊 29 試合 アナウンスと審判の確保が困難 運営を高知中央高校と室戸高校の女子硬式野球部の選手に手伝ってもらってる
	3 四万十町 四万十町議会 〇〇議長 四万十町役場 企画課 〇〇課長 四万十町役場 にぎわい創出課 〇〇課長
	全町的に空き家調査を実施 委託 全戸数 13,992 棟 在宅戸数 12,677 棟 空家戸数 1,315 棟 空家率 9.4% 空家の老朽度 ランク A 726 棟 55.2% 利用可能な空き家が多いことが判明 不動産業者と連携して、物件情報を提供 14 年間で、291 件登録 アキカツ調査 CLOUD の活用 システムを活用して空き家の利活用を推進 お試し滞在施設 滞在型市民農園 22 区画 日帰り型農園 16 区画 移住定住住宅 入居期間 2 年間 中間管理住宅 空き家所有者と四万十町が賃貸借契約(12 年間) 52 戸 移住定住希望者へ賃借する住宅 改修費用 1,400 万円の場合 国費 700 万円 50% 空き家対策総合支援事業補助金 県費 275 万円 19% 空き家活用促進事業補助金 過疎債 318 万円 内 70%は交付税処置(222.6 万円) 一般財源 107 万円 実質負担額 202.4 万円 良品計画が中間管理住宅の空間設計を担当(無印良品)

4 高知県幡多郡黒潮町

大西町長

黒潮町議会 副議長

黒潮町役場 議会事務局 書記

黒潮町役場 企画調整室 地域振興係 室長 係長

人口 9,804 人 世帯数 5,262 世帯 高齢化率 47.7%

カツオの薫焼きタタキ 完全天日塩 グリーンレモン

防災缶詰 ホエールウォッチング サーフィン

最大震度 7 津波高日本一 34m

庁舎・保育所等の高台移転

AI オンデマンド交通システム

くじらん 現金・デスカ

令和 7 年 2 月 3 日 予約は、電話・アプリ(のるーと)

運行方式 定時定路線、デマンドの HB

イニシャル 8,443 千円 ランニング 7,425 千円(29 ヶ月分)

運行日 月・水・金 9 時～18 時

運賃 大人 100 円 小児・障害者・介護者 50 円 未就学児無料

活性化協議会運賃分科会で設定

デジタル田園都市国家構想推進交付金

運行事業者 高知西南交通

データが整理される 年齢 利用状況

49 ヶ所のミーティングポイント

登録者数 234 人 1 日使用者 平均 13 人 アプリ予約 4 割

【まとめ】

廃校の跡地活用は、これからの大きな課題であり、保護猫活動に使えないかなど民間委託を積極的に考えていく必要がある

野球大会の開催においては、アナウンスと審判の確保が困難という共通の課題があるので、これを解決する地道な取組が必要

三次市も全市的な空き家の調査が必要であり、移住定住対策を市としてもっと進めるべき

同じ業者を使っている AI オンデマンド交通システムの先進地視察は、これからの三次の取組に大いに役立つ話が聞け、実際に体験できた

視察等報告（復命）書

三次市議会議長 様

報告者氏名 國重 清隆



下記のとおり、視察が終了したので報告します。

	会派代表者		経理責任者	
視 察 議 員	小田・横光・弓掛・藤井・月橋・細見・國重 7名			
期 間	令和7年7月1日（火）1日目			
視 察 先	①岡山市加賀郡吉備中央町宮地 873 ティハイム小学校 ②高知県安芸市土居 82-1 安芸市役所安芸市議会			
視 察 用 務	調査研究の為、行政視察			
視察先対応者	①ティハイム小学校 担当者 様 ②安芸市議会 局長 ③安芸市教育委員長 生涯学習課 ④安芸市教育委員会 スポーツ振興 係長 // 生涯学習課 課長			

概要及び所見	(ティハイム小学校) ※(廃校を利用した保護猫施設) ◎私が一番驚いたのは医療施設の充実です。 中四国地区から保護猫を受け入れる体制も整っています。 今後、三次市内でも廃校が増えてまいります。 行政と民間が一つになって協力していくこれは郷物愛護について素晴らしい施設だと思います。 (安芸市役所) ※(女子野球への取組について) ◎私が非常に興味を持ったのは少子化が進み様々な○スポーツ人口がへっているなか、女子硬式野球だけはスポーツ人口が年々増加している。 これは、小・中・大と社会あるいは○との交流がうまくいっている証拠だと思います。 わが市も色々と情報を○していくべきだと思います。女子野球を通じて繋がりができることを感じている。 最後に現地視察(安芸タイガース球場)非常に素晴らしい四国の甲子園を視察することができました。
---------------	---

視察等報告（復命）書

三次市議会議長 様

報告者氏名 國重 清隆



下記のとおり、視察が終了したので報告します。

	会派代表者		経理責任者	
視 察 議 員	小田・横光・弓掛・藤井・月橋・細見・國重 7名			
期 間	令和7年7月2日（水）2日目			
視 察 先	①高知県高岡郡四万十町 16 番 17 号 四万十役場 四万十町議会 ②高知県幡多郡黒潮町入野 5893 番地 黒潮町役場 黒潮議会			
視 察 用 務	調査研究の為、行政視察			
視察先対応者	①四万十町議会 様 ②四万十町役場 企画課 課長 ③四万十町役場 にぎわい創出課 課長 ①黒潮町 町長 ②黒潮町議会 副議長 ③黒潮町役場 議会事務局 書記 ④黒潮町役場 企画調整室 室長補佐			

概要及び所見	(移住・定住施策について) ◎四万十町の空き家の調査・空き家情報の発信 全町内的に空き家の調査を実施。空き家調査結果を基にした現地踏査、町内の不動産業者と連携して、物件情報を提供し実績を上げている。 また、お試し滞在住宅設備、滞在型市民農園の設備、移住きっかけへと繋げていく。 定住者の業務として地域おこし協力隊の直入によって活動中及び定住した協力隊が増加し、「人口減少に歯止めがかかっている。 三次でも地域資源の有効な活用方法を考えるべきではないか。 (AI オンデマンド交通サービスについて) ◎三次市において AI オンデマンドバスサービスについて 官民とよく連携することが大事であるアプリ予約をしっかりと活用できること、バスとタクシーの長所をうまく取り入れており、通院や買い物といった日常的な用途に加え、観光エリアでは観光客にも利用されています。 しっかり調査研究が必要です。
---------------	---

視察等報告（復命）書

三次市議会議長 様

報告者氏名 細 美 克 浩

下記のとおり、視察が終了したので報告します。

	会派代表者	小田伸次	経理責任者	藤井憲一郎
視 察 議 員	三輝会全議員7名			
期 間	令和7年7月1日（火）～令和7年7月2日（水）			
視 察 先	別紙の記載			
視 察 用 務	別紙に記載			
視察先対応者	別紙に記載			
概要及び所見	別紙の記載			

復命

調査・研修報告 三輝会 細美克浩

日時:令和7年7月1日(火)~7月2日(水)

調査項目

- ①廃校の活用について(ティアハイム小学校)
- ②全日本女子硬式野球選手権について(安芸市)
- ③地域おこし協力隊制度と移住定住施策について(四万十町)
- ④AIオンデマンド交通について(黒潮町)

①廃校の活用について(ティアハイム小学校)

調査研修目的

廃校の利用活用について研修するため。

訪問日:令和7年7月1日(火)9:40~10:40

訪問先:岡山県加賀郡吉備中央町宮地873 一般社団法人ティアハイム小学校

対応者:ティアハイム小学校 担当 〇〇氏

説明内容:

同施設の利用等について説明を受ける。

廃校を利用し、動物(猫)愛護の観点から、飼えなくなった猫や捨て猫を保護し、譲渡会を毎週1回開催され、学校の仕組みのように引き取りは入学、そして譲渡は卒業として対応され、クラス分けもされている。

【まとめ】

- ・本市において、現在廃校になった校舎の再活用について、どのような活用運営されていくのか調査していきたい。
- ・動物愛護の観点から、動物保護活動されている方が、廃校での動物の保護ができないか調査していきたい。

②全日本女子硬式野球選手権について(安芸市)

調査研修目的

女子野球タウンとして認定を受けている本市において、今後WBSC女子野球ワールドカップ大会が実施されていく中での関りについて、全日本女子硬式野球選手権が毎年開催されている安芸市の執行体制等について調査研修するため。

訪問日:令和7年7月1日(火)13:30~15:30

訪問先:高知県安芸市土居82番地1 安芸市役所

対応者:安芸市議会事務局 局長 〇〇氏

安芸市役所 安芸市教育委員会生涯学習課 課長 〇〇氏

安芸市役所 安芸市教育委員会生涯学習課 スポーツ振興係長 〇〇氏

説明内容

女子野球への取り組みについて説明を受ける。

大会に対する市の予算は、補助金として対応され、大会運営としては、他に県補助金、広告料で対応し、実行委員会事務局としてほぼ全てに携わっている。

問題点は、雨天の影響により弁当への対応や宿泊のキャンセル料が発生すること。また、審判員等の役員手配が難しくなっていることが上げられる。

【まとめ】

今後本市においても、女子野球の大会が開催され市としての予算も計上されていく中で、しっかりと内容を審査し、持続可能な体制がキープされるよう見守っていきたいと思う。

③地域おこし協力隊制度と移住定住施策について(四万十町)

調査研修目的

地域おこし協力隊制度と移住定住施策について調査研修するため。

訪問日：令和7年7月2日(水)10:00～11:30

訪問先：高知県高岡郡四万十町琴平町16番17号 四万十町役場

対応者：四万十町議会 〇〇議長

四万十町役場 にぎわい創出課 課長 〇〇氏

四万十町役場 企画課 課長兼人材育成推進センター所長 〇〇氏

説明内容

小笹課長より移住推進の取り組みについて説明を受ける。

- ・地域活性化起業人の活用
- ・お試し滞在施設の管理運営
- ・滞在型市民農園

滞在型農園(宿泊施設付き貸し農園)22区画

日帰り型農園(貸し農園)16区画

- ・移住定住住宅の管理運営

移住支援住宅：入居期間2年間、物件数7戸

中間管理住宅：入居期間2年間(再契約可能)、物件数52戸

中間管理住宅は空き家所有者と四万十町が賃貸借契約(12年間)を締結し、町が改修工事を行い、移住・定住希望者へ賃借する住宅

- ・地域おこし協力隊制度の活用

隊員が定住することによる人口増加、地域リーダーとなれる人材の確保

四万十町役場雇用型(平成24度から)

民間企業等受入型(令和6度から)

【まとめ】

地域おこし協力隊制度をもっと活用して、本市の人口増加、地域リーダーとなれる人材確保に貢献していただける隊員を増やしていただきたい。

また、中間管理住宅の考えを検討し移住推進に取り組んでいただきたい。

④AIオンデマンド交通について(黒潮町)

調査研修目的

本市における生活交通確保対策、AI活用型オンデマンドバス事業の展開の中、他事業者の施行事例を参考に今後の対応策がないか調査研修するため。

訪問日：令和7年7月2日(水)13:45～15:30

訪問先：高知県幡多郡黒潮町入野5893番地 黒瀬町役場

対応者：黒潮町議会 〇〇副議長

黒瀬町役場 企画調整室地域振興係 室長補佐兼係長 〇〇氏

黒瀬町役場 議会事務局 書記 〇〇氏

説明内容

秋田室長補佐よりAIオンデマンド交通システムについて説明を受ける。

運行日：月・水・金曜日 9:00～18:00

運賃：大人100円、小児(小・中学生)・障がい者・介護者50円、未就学児無料

支払方法：現金、デスカ

予約方法：電話、アプリ(「のるーと」)

車両：キャラバン2台

運行方法→定時運行

デマンド 空き時間の有効活用(市街地)

区域運行 既存の運行エリア→ドアtoドア方式

市街地→ミーティングポイント方式

利用状況→登録者数 234人

1日利用者 平均13人(目標値11人)

アプリ予約 4割(85歳の方もいる)

黒瀬町モビリティくじらん乗車体験

【まとめ】

- ・登録者の予約により、有効的に活用されている。(本市でも可能ではないか。)
- ・運賃が安いいため活用しやすい。(本市では運賃については、検討課題と思われる。)